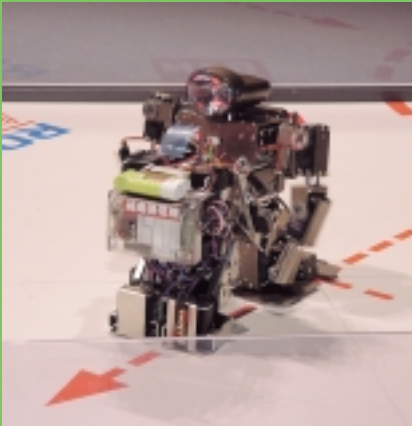


白熱!

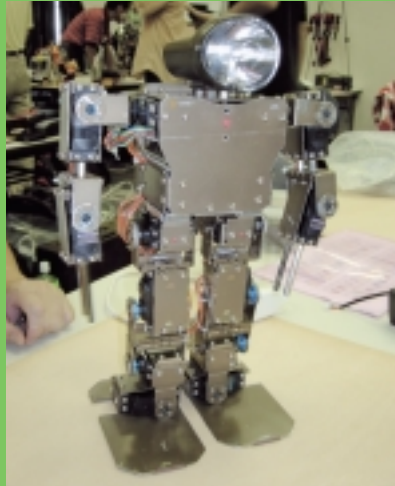
# 早くも第2回大会が開催!

## 第2回ROBO-ONEレポート

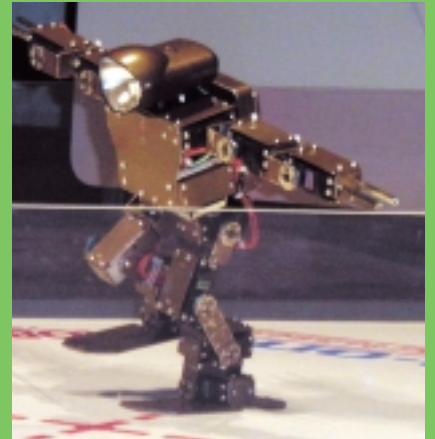
あさの 浅野 じゅんや 純也 (ライター)



Metallic FighterとAdoの対戦。ともに腰を落として構え合っているが.....。



優勝したMetallic Fighter。俊敏な動きと起き上がり機構、信頼性の高さで前回の雪辱を果たした。



Metallic Fighterは、デモンストレーションではこんな技も披露した。

ROBO-ONEの第2回大会が8月10と11日の2日間にわたって川崎市の川崎産業振興会館において開催された。ROBO-ONEについてはあらためて説明する必要はないだろう。ロボットファンの夢、2足歩行ロボットによる格闘技大会であり、今年の2月に第1回大会が開催され、社会的にも大きな反響を呼んだイベントだ(本誌No.21でレポート済み)。



会場はかわさきロボット競技会でおなじみの川崎産業振興会館。多くのロボットファンが詰めかけて声援を送っていた。

その半年後に早くも第2回大会の開催となったわけだが、実行委員会側は今後ROBO-ONEを1年に2回のペースで開催していくつもりようだ。また将来的には韓国や台湾、東南アジアを含めたアジア大会への発展も予定されているという。

### 参加資格に「屈伸」が追加!

前回の開催からわずか半年後にもかかわらず第2回大会には50台のロボットがエントリーした(実際には60台以上が参加申請をしたが例によってキャンセルが相次いだ) 前回から引き続きエントリーした参加者のほか、第1回大会に触発された人やまた前回は間に合わなかった人などさまざまだが、半年というインターバルを考えるとかなりの盛況ぶりといえる。ROBO-ONEに対する注目度の高さを示すバロメ

ータともいえるだろう。また韓国からも2人が招待参加しており、国際色も豊かになりつつある。

今回は参加資格が新しくなり、従来の「2足歩行できること」のほかに「屈伸ができること」が追加された。実行委員会は参加者の技術レベルに応じて参加資格を追加、レベルの引き上げを企図しており、今回はその第1弾となる(後述する第3回大会では『横歩き』が検討されている) た

だし「屈伸」自体については厳密に定義されておらず、審査員に「屈伸に見えればいい」程度のもので、もちろんその構造やアイデア、見栄えは審査の点数に反映されるので、いい加減なトライアルは自分の首を絞めることになるが.....。このあたりのアバウトさは参加者の自律性を信頼した運営というか、ROBO-ONEらしさともいえる(実際にジャッキアップのようなメカやエアによって瞬時に上下させるロボットがあった)